

先進事例 紹介

機能別団員の導入 そして愛される消防団へ

茨城県 龍ヶ崎市消防団

1 はじめに

龍ヶ崎市は茨城県の南部に位置し、首都圏から50km圏内という地理的条件から、近年は龍ヶ崎ニュータウンやつくばの里工業団地などの開発による都市化が進み、首都圏のベッドタウンとして大きな発展を遂げてきました。また南部は堆積平野に豊かな水田地帯が広がり、県南の穀倉地帯としての核を成しているほか、西部には白鳥が多く集う牛久沼があり、伝統的な投網漁や張網漁などが行われるなど、自然豊かな環境と都市化された環境が調和した素晴らしい町並みとなっています。

また、Yahoo!JAPAN主催の「第2回ご当地メシ決定戦2014」で人気投票日本一に輝いた「龍ヶ崎コロッケ」を始め、落花生や龍ヶ崎トマトなど数多くの名産品があり、そして数々の映画やドラマのロケ地としても利用されるなど、まちの魅力を全国へ発信し続けています。

管内図



2 龍ヶ崎市消防団の現状

本市消防団の歴史は古く、昭和29年3月に龍ヶ崎町他6ヶ村が合併し龍ヶ崎市が誕生したことに伴い消防団

も統合され、7支団51分団2,065名をもって組織されました。昭和32年に組織の合理化を目的として一部分団の統合を図り1,260名の組織となった後は、度重なる組織改革を行い、現在は条例定数550名の組織となっています。

当初は2,000名以上が在籍していた大規模な消防団でしたが、市外への通勤者や被雇用者が増加するといった就業形態の変化や、地域交流の希薄化が進み、平成26年4月1日現在には団員数が491名と過去最低になりました。加えて就業形態の変化に伴い日中の出勤人員の確保が難しくなってきたことから、「団員数の確保」と「日中の出勤人員の確保」の2つの問題を解決するべく、機能別団員の導入へと動き出すこととなりました。

3 「機能別団員」の導入

機能別団員制度の導入に当たっては、元団員や元消防職員が大規模災害時に活動することや、大学生で構成する隊、そして市内の事業所職員で構成する隊の3つの柱で導入し、団員の募集や機能別団員に係る条例の制定など、平成27年4月1日から運用を開始しました。

そして平成27年5月26日、いち早く機能別団員としての活動に名乗りを上げた「JA竜ヶ崎隊・市役所隊」の発足式が行われました。これらの隊は、通常の勤務時間内に発生した水火災等の災害防衛活動を基本として活動することとし、JA竜ヶ崎隊は12名、市役所隊は14名をもって発足しました。

JA竜ヶ崎隊の発足に当たっては、本市消防団 渡辺孝（わたなべ たかし）副団長がJA職員ということもあり、竜ヶ崎農業協同組合の皆様には機能別分団の趣旨を深くご理解頂き、機能別団員としての活動を快く引き受けていただくことができました。



機能別隊発足式

4 女性消防団の取り組み

本市の女性消防団は、本部付の第11分団として平成24年7月に発足し、平成27年8月1日現在17名の団員で活動しています。これまでは消防団行事の運営補助や、市内行事での防火啓発に関する広報などを主な活動としてきましたが、発足から約三年が経過し、組織としての団結力や向上心が一層強くなってきたことから、今年度は活動の幅を広げることを目的とし、全11分団員の応急手当普及員資格の取得を大きな目標として掲げました。昨年度までに資格を取得した7人に加え、今年度も多くの団員が資格の取得に向けて講習を受けています。

5 消防団員を確保する為に

団員の減少は全国共通の大きな課題となっていますが、本市消防団では以下のような取り組みを中心に団員確保を行っています。

- ・消防団・消防職経験者が居住地の分団へ入団できるよう制度を創設した
- ・市役所の新規採用職員に対し、研修の一環として消防団がどのような組織かを学ぶ機会を設けた
- ・市内各地のイベントでは女性分団を中心に広報活動を行い、消防団活動への理解の促進や勧誘を行った
こうした取り組みが功を奏し、平成26年度当初には過去最低となった団員数も、平成27年8月1日現在で

は30名以上の増となる527名まで増加し、この結果、団員の増加率が高かった消防団として、高市早苗総務大臣より感謝状を賜ることができました。

6 まとめ

本市消防団は、操法大会の実施や日常の器具点検等はもちろんのこと、市内各地区で行われる防災訓練に団員が出動し、消防ポンプ操法の展示を始め、水消火器やAEDの使用方法の指導なども行い、地域の方々に愛される消防団を目指して日々活動しています。



防災訓練での指導の様子

大災害が発生した際には、地域の方々との結びつきが何よりも強い力となって人々の支えとなることから、団員と地域住民がより一層近い存在となれるよう、また団員が地元を守る大きな力であるという誇りを持てるよう、今後も高い意識を持って消防団活動に取り組んでいきます。